

中国地方整備局 太田川河川事務所 調査設計科一課 御中

「太田川水系河川整備計画」について

広島から離れたことのない 52年向、所は変わりましたが川の流れば変わらなく  
程か心地のいい所です。

遊覧船が運管士を乗りませんが、見る所も少なく、川の流れと石垣で  
またなく見あけても原爆ドームだけ高い運賃を乗り廻りかたないです。

せつかくの水の都・広島とかつよく宣伝されてやうと水上の交通も発展さ  
うして期待もタケより高く、一般向きではなく、消えたみたいですが。

10月からボート係留禁止にエエと、反対です。

★ 川が多く上流まで行ける川をもっと気軽に使える船着き場、レジャーボートを  
おしよりに停泊出来る。川のインテリアに作るように出来た方がいいか？

石垣にもエエ類でアーチにしている部分があるところありますか？

花の咲くエエ類もあるの？ それを各場所にてーマを作り、花の石垣。

スイルの咲く場所もあるといいと思います。

上流では水をきれいにする、植物も利用出来るもいいのでは？

★ 落書き出来る若者に石垣を使ってもらい、アートのおもしろい表現の出来場と。

無料の個性のある芸術者と交流し、川沿いコニテストを開催することも  
おもしろいのでは？

美しい水辺 上ばかり見るとはなく、下から上を見あける美しさも考えて下さい。

(橋の下も)

★ 交通が渋滞で、川口・広島駅、牛田、横川と行けるのに、何で利用出来ないのか？

★ 他県にはない、川の多い「水の都広島」をもっとアピール出来る。

川の便い方をエエことを願います。

中国地方整備局 調査設計科



③

トル

# 大田川における河床管理

河床は自然のまま生かされ続けている。

人工河床・天然河床等区別化されている。

人間の愚かさより、建設工事等採石・盗石された岩石・石片を内会、ボランティアワークの一として小型トラック等で運搬し、流域一帯に投げ込む。

自然現象が作り出した大田川のミゾドロ底が石床化すると水位の引き金とながり、ミゾドロ底が持つ川の泥ハネ作用を減少し、若しくは妨げる恐れも出てくる。

② 河床は森林に於けるフイトン干ツド作用と呼応し、河床から精神

谷折リ

を癒す(ヒーリング効果ガス)を噴出すると思われる。これらの特性を活かす河床管理に大田川の未来を拓す。

④

タイトル

# 広島の川・港を美しくして下さい

私 は 子 供 の こ ろ 港 町 で 生 れ 育 つ て  
 お り ま し た。 そ の こ ろ は 海 も 美 し い  
 澄 み 切 っ た 海 水 で し た。 魚 も 貝 も 多  
 く お り ま し た。 今 は 海 水 は 濁 り の 魚 は  
 少 な く 貝 は い な く ぼ ろ ぼ ろ 本 来 の 魚 類  
 特 産 の 牡 蠣 も 小 さ く 味 も 大 変 に 帰 っ 来  
 汚 れ て 皆 は 実 際 大 変 に 帰 っ 来  
 た 淋 し い か き 原 卓 子 大 変 に 帰 っ 来  
 の 水 を 五 十 年 前 に 流 し て 下 さ せ ば  
 ト を 広 島 湾 に 流 し て 下 さ せ ば  
 れ ば 魚 貝 類 も 増 え る と 思 い ま す  
 海 水 も き れ い に な り ま す。 赤 潮 被 害  
 も 少 な く な る と 思 い ま す。 赤 潮 被 害  
 近 隣 市 町 又 は 島 の 皆 様 に は 失 礼 と  
 思 い ま す が 海 水 淡 水 装 置 を 付 け て  
 も ろ い そ れ で 淡 水 装 置 を 作 る 会 社  
 も 淘 り 事 に な り ま す。 昔 は 広 島 の 川  
 は 橋 の 上 が ら 底 が 見 え ま した。

谷折り

あ の 時 の 美 し い 広 島 の 川 に して も  
 ら い た い。 こ の 事 を 広 島 の 多 く の  
 人 が 思 っ て お り ま す。 出 来 たい  
 良 い 方 向 に し て も 出 来 たい  
 お 祈 り し て お ね が い し ま す。

河底洗堀の予防と魚道の設置位置について

太田川の川づくりアンケートによると災害対策として堤防の強化が望まれるという結果がでています。ところで堤防決壊の原因は多々あると思われるが主に堤防下部の河底洗堀による連続的崩壊が多いように思われる。災害後の現状を見ると堤防をより深く掘り下げた、堤防下に洗堀を防ぐためにテトラポットの様なものを設置したなどと新聞紙上で見るが私の意見としては、水の流速、水量など現場の状況も考慮して自然に逆らわない工事が必要ではないだろうか。そのためには水の流れを研究して河底洗堀がおこらない構造、堤防下部に水の流れを遮るような工作物を設置しない、もし施す

谷折り

とすれば河底に施すなど従来の工法の軽減も必要ではないだろうか。

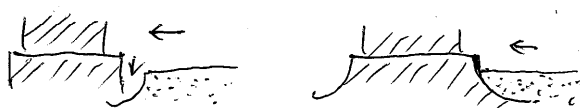
従来のもの、詞章



次に橋脚下部の洗堀防止について水面に直角に河底<sup>400</sup>に入っている構造部を船の船首をむくり返し

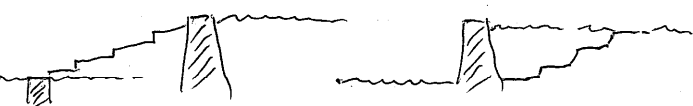
の形にして水の抵抗を少なくしてはと思う。河底洗堀の進んだ既存橋脚については僅かの補修で補強できるのではないだろうか。

従来のもの、詞章



続いて魚遊とのための魚道の位置について従来のものは堰から下流に向けて施されているが、堰から上流に向けて施しては如何なものか。堰の下まで来た魚が下流に居って遊上するのは難儀なこと。

従来のもの、詞章



↑ 既存のものについては魚道の下方に透導のための背の高い工作物を斜に作ってはと思う。

6

タイトル

① 南北一連の遊歩道、サイクリングロードの整備を

② 安佐地区可部付近に親水公園の設置を

③ クリーンセンターを増やす、

※発表は望んでいませんが、再度ご検討をお願いします。

## 補足

① 現在の遊歩道は途中で切れ切れですが、三波峠から海老塚方面のサイクリングロードやトレイルの設置。

谷折り

② 可部の町には広々とした公園がありません。河川敷に親水公園が欲しいです。

③ 知る人ぞ道路や水路のゴミを拾っています。後を絶ちません。センターを増やして啓発、広報してほしいです。